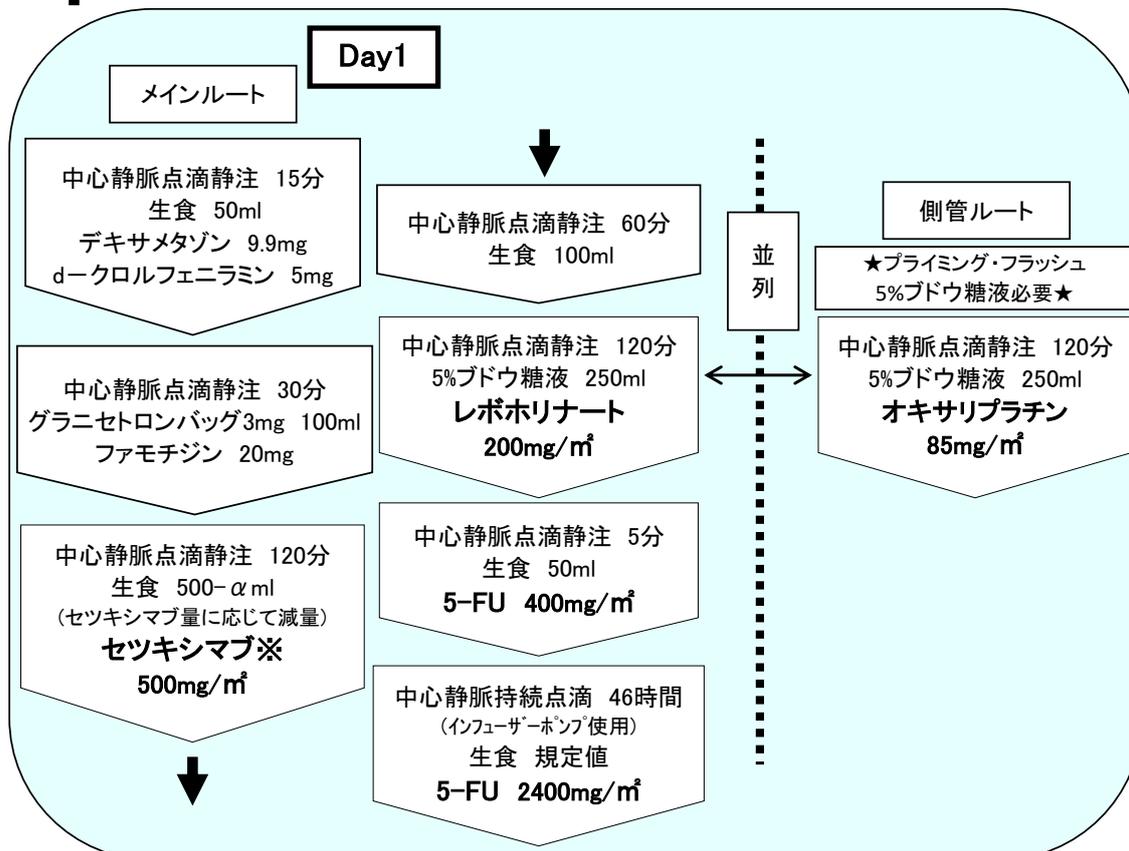
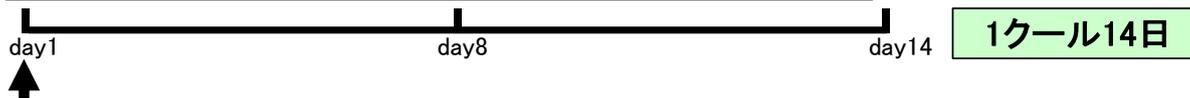


# がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	プロトコール名
	結腸・直腸癌	biweeklyセツキシマブ+mFOLFOX6
投与予定	休薬を含めて1クール	14日 施行可能な限り



※セツキシマブ投与終了後、少なくとも1時間は観察期間(バイタルサインをモニターする等)を設ける。又、セツキシマブと同じ投与速度でラインを生食にてフラッシュする

備考

薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	薬価最小組み合わせ
セツキシマブ	500 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body	
レボホリナート	200 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body	内 25mg 0mg 訳 100mg 0mg
オキサリプラチン	85 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body	
5-FU (bolus)	400 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body	内 250mg 0mg 訳 100mg 0mg
5-FU (46時間点滴)	2400 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body	内 250mg 0mg 訳 1000mg 0mg

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
デキサメタゾン	8mg	分2 朝昼食後	day2~3

○infusion reactionについて  
 ・投与速度は10mg/分以下: 速いとリスク増加。  
 ・重度は投与中止し再投与は行わない。  
 ・軽度~中等度は投与速度を半分の5mg/分以下。再度infusion reactionが現れた場合には再投与しない。  
 ○G3以上の皮膚症状発現時の投与延期・減量基準  
 まず投与延期または中止  
 投与延期後、セツキシマブ再開時の用量調節の目安有り